



あゝ
愛 逢

第
17
号

特定非営利活動法人 愛逢
尼崎市小中島1-20-21
電話 06-6493-1424
FAX 06-6493-1443
発行責任者 坂本敬子
発行日 2007年9月11日

ターミナルケアと終末期の生き方について 皆さん、一緒に考えませんか？

市が助成を行っている「あまがさきチャレンジまちづくり事業」の中に、市内で活動するグループが、自分たちの地域の課題を解決する取り組みを対象とした「地域コミュニティ活動支援事業」というのがあります。昨年

度、愛逢は「ボランティア講座」で助成を受けました。今年度は「ターミナルケアと終末期の生き方を考える講座」で助成を受けることが決定しましたので、ここにご案内します。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

講座の趣旨

老若を問わず生物にはかならず訪れる終末。普段何となく避けて通りたいテーマですが時々立ち止まって自身の終末について考える必要があるのでは。さまざまな終末期に関わる講師の方々に現場の取り組みや状況についてお話を伺い、考えるヒントになればと思います。

日程、テーマなど

日 程		テ マ	講 師
1回	10月16日(火)	最後まで自分らしく —自分の死、家族の死、友人の死—	高木 慶子氏 聖トマス大学客員教授 「生と死を考える会全国協議会」会長
2回	10月26日(金)	電話相談の中から見えてきた もの	いさがわ 去来川 節子氏 がん療養相談「あじさい会」代表
3回	11月 3日(土)	あなたはどうちらを選びますか —病院での看取り、在宅での看取り—	ふじよ 福田 富滋余氏 佐世保中央病院 緩和ケアナース 日本看護協会 認定看護師
4回	11月17日(土)	あなたの家に帰ろう	桜井 隆氏 さくらいクリニック院長 阪神ホームホスピスを考える会世話人

主 催 : N P O 法人 愛逢

後 援 : 尼崎市、尼崎市教育委員会、聖トマス大学

時 間 : 13:30~15:30

会 場 : 聖トマス大学サピエンチアタワー10階大ホール

参 加 費 : 各講座 500円（資料代）

申 込 : N P O 法人 愛逢まで電話・FAX・E-mailにてお申し込み下さい。

T E L : 06-6493-1424 F A X : 06-6493-1443 E-mail: poaiai2004@tiara.ocn.ne.jp

この夏も、楽しい行事があちこちで行われました。ご参加、そしてボランティアありがとうございました。

一平和展 2007 in 聖トマス大学

8月11日、12日、聖トマス大学で、平和展が行われました。日頃地道な平和活動を行っている市民運動9団体が実行委員会を作り5月から準備してきたものです。学生会館ではミニコンサート、反戦アニメ、戦争体験談や講演がプログラムに沿って行われました。愛逢は「母と子のヒーリングミニコンサート」を企画。会場には地域の子どもたちやお母さん方に、

たくさんお出でいただき、とても楽しい一時を過ごすことが出来ました。コロクトリウム・サピエンチエでは、子どもたちの読み聞かせがあり、パネル展示有り、なつかしい「すいとん」のサービスあり、大変なにぎわいでした。来年もまた多くの市民の方々と、このような平和の祭典を続けていきたいと思います。



一よってたかって夏まつり in 小中島公園

7月28日(土)夕方5時から小中島公園で、例年のように各団体が趣向を凝らした店を出し、NPO愛逢は今年も「かき氷」と「ばら寿司」を販売しました。6時までは子供中心。多くの子どもたちや利用者さんのおかげで、勿論今

年も食べ物は完売でした。ただし後半、盆踊りで盛り上がっていたのですが、突然の大雨で残念ながら中止。でも楽しい夜を過ごして頂けたのではないでしょうか。



一平和行進

7月22日(日)、阪神医療生協主催の四支部をつなぐ平和行進にNPO愛逢も参加しました。「みんなで平和を守りましょう！」など、大声のシュプレヒコールで道行く人たちに平和の尊さを訴えました。園田支部～小中島支部～常光寺支部～長洲支部まで約8キロを約150名の仲間と共に行進しました。



ヘルパー活動報告 ①「自立支援」

障害者自立支援法に基づく事業って、どんなのか皆さんご存じですか？ 担当のヘルパーさんに少しお聞きしました。

こんにちは、NPO愛逢では自立支援活動にも取り組んでいます。今まで家の中に引きこもっている、一人では外出するのが怖い、他人とのコミュニケーションがうまく取れないといった利用者さん達に少しでも自立を促し、行動がスムーズに行けるように手助けしています。家族の方にも見せたことのない行動やしぐさを見出すこともあります。いろいろな場所や人間関係や社会生活と関わりながら自立できるように一緒に活動し、家族の方にも伝えています。

(ヘルパーの宇佐見さんからの報告です。)

お聞きしますと利用者とヘルパー数名の複数で出掛ける活動が中心のようです。これまでに次のような活動がありました。相当多岐にわたっています。

- ①亀にエサやり体験 ②パチンコ遊技体験 ③六甲山での山歩き ④ハーティ21での水泳
 - ⑤王子動物園 ⑥身体障害者福祉センターでの運動 ⑦舞洲でのボーリング、トランポリン
 - ⑧ホビスタ(アミング潮江)尼崎でのNゲージ遊び ⑨エジプトミイラ展見学
- ある日の身体障害者福祉センターでの軽スポーツ教室について紹介します。



全員でまずウォーキング →



続いて柔軟体操 →



そして楽しいボーリング

広い体育館に利用者、ヘルパー、保護者そして体育指導員の皆さん15名が集合。指導員の号令に従い、前半はまず軽い運動で体をほぐし、後半はボーリングのゲームで時間を過ごしていました。利用者は皆、若く、ヘルパーや保護者の人たちの補助を随時受けながら、楽しんでいました。ボーリングはゴムのマットをつなぎ合わせて出来るレーンを使って、玉も通常のものより小さめで、また障害の程度に応じて、投げる位置を変えるなど色々工夫がなされていました。スペアが出ると、皆で拍手喝采し、利用者も満足げでした。ボーリング以外にはゲームとしてバスケットボールもするそうです。

ミッション(社会的使命)

私たちちは多様な生き方が尊重され、
誰もが安心して暮らせる地域を作る為に、
仲間と支えあい(愛)、つなぎあ(逢)っていきます。

寄付金をいただきました

(敬称略)

寺前 裕子 永田 エイ子 後藤 順子 藤井 小夜 富松 英二 常藤 康子

当会の趣旨にご賛同頂き、ご協力頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

(期間：6月21日～8月31日)

ホット待々



今年の夏は、本当に暑い日が続き体調管理が大変でした。皆さまお元気ですか？ エル・ニーニョ現象（水温が異常に上昇する現象）や、ラ・ニーニャ現象（海水温が異常に低下する現象）で地球環境がだんだんおかしくなってきてるとニュース等で言われているのに、昨夜草むらで「虫」の声を聞いて自然界は秋の気配を感じてくれているのに「ホット」嬉しくなりました。<姫娘>

我が家に扇風機が来たのは昭和27年だったと記憶している。それまでは専ら「うちわ」と庭の打ち水と風鈴の音で涼を得ていた。扇風機が来てからは、それで充分夏を乗り越えることが出来た。

今は各家庭に空調設備が整って快適な生活が約束されているはずなのに、今年の残暑の厳しいこともあるが、熱中症で亡くなる方が増えている。

文明に体が追いつかないのか、文明に頼りすぎる自然からの警鐘なのか？しかし暦は少しづつ秋に向かっているようだ。

<淑女>

今年の夏、普通じゃなかった。そのおかげで普通なら出来ないことを経験させてもらった。お盆の頃、北海道でも初めて四日連続で35°Cを記録。ちょうど北海道にいたので、北海道の[へそ]の富良野市郊外で、空知川の約7キロのラフティング下りを体験、これ大型のゴムボート。川の水温は15°Cなので、途中皆そのまま川ヘドブン。少し冷たくて、でも本当に気持ちが良かった。北海道では夏に川で泳げるのは珍しいらしいことらしい。<tomy>



募 集

ヘルパー

介護保険事業、自立支援事業

- (1)パートヘルパー
- (2)登録ヘルパー

ボランティア

- (1)移送
- (2)配食運転

気軽に、ご相談下さい。



月見酒

すすきのの街でその下

次号に向けて

第17号はいかがでしたでしょうか？ ご意見・ご感想や皆さまからのご投稿（地域のニュース、詩・俳句・川柳などの文芸や写真など）をお待ちしています。奮ってご応募下さい。